

芸閣

～図書館だより～

第9号
2022年1月
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。
書庫、書齋という意味です。
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)

芥川賞 直木賞

第166回芥川賞・直木賞が発表されました。

芥川賞 『ブラックボックス』 砂川文次氏
直木賞 『塞王の楯』 今村翔吾氏
『黒牢城』 米澤穂信氏

「芥川賞」の正式名は「芥川龍之介賞」、「直木賞」の正式名は「直木三十五賞」です。どちらの賞も1935年に菊池寛によって創設されました。毎年1月と7月の年2回発表されます。どちらも正賞は懐中時計、副賞は賞金100万円だそうです。芥川賞は新人作家に与えられる賞で、直木賞も当初はそうでしたが、1970年代あたりから中堅作家に与えられるようになったようです。図書館にも、今までの芥川賞・直木賞受賞作品がたくさんあります。気になる作品があれば、手にとってみてください。

図書館講座

高3のみなさんへ

借りている本は、卒業までに忘れず返却してください。

高校卒業生に対しては、受験対策等の特別な事情がある場合にかぎり、3月中も本を貸し出します。図書館へご相談ください。

12月22日(水)に図書館で桐蔭ビブリオバトル大会を開催しました。オーディエンスは図書委員と図書局員。バトラーは先生方5人をお願いしました。

○笹井校長先生

『道をひらく』(松下幸之助 著)

○宇野教頭先生

『洪水は我が魂に及び』(大江健三郎 著)

○社会科・田伏先生

『大江戸リサイクル事情』(石川英輔 著)

○英語科・海野先生

『NATIONAL STORY PROJECT』

(ポール・オースター編)

○保健体育科・中条先生

『私は「セロ弾きのゴーシュ」』(中村哲 著)

チャンプ本には、海野先生が紹介された『NATIONAL STORY PROJECT』が選ばれました。

新着図書の紹介

日本の小説

- 『ワラグル』 浜口倫太郎 著 小学館
『闇祓』 辻村深月 著 KADOKAWA
『倒産続きの彼女』 新川帆立 著 宝島者
『invert 城塚翡翠倒叙集』 相沢沙呼 著 講談社
『僕が愛したすべての君へ』 乙野四方字 著 早川書房
『明け方の若者たち』 カツセマサヒコ 著 幻冬舎

歴史

- 『スペイン史10講』 立石博高 著 岩波書店
『ヒトラー：虚像の独裁者』 芝健介 著 岩波書店
『アウシュヴィッツ生還者からあなたへ』 リリアナ・セグレ 著 岩波書店

技術

- 『ロボットと人間：人とは何か』 石黒浩 著 筑摩書房
『わたしは「ゼロ弾きのゴーシュ」』 中村哲 著 NHK出版

自然科学

- 『マルチメッセンジャー天文学が捉えた新しい宇宙の姿』 田中雅臣 著 講談社
『数理の窓から世界を読み解く』 初田哲男ほか 編著 岩波書店
『暗記しないで化学入門』 平山令明 著 講談社

社会科学

- 『親を頼らないで生きるヒント』 コイケジュンコ 著 岩波書店
『〈弱さ〉を〈強み〉に』 天畠大輔 著 岩波書店
『トットちゃんと訪ねた子どもたち』 田沼武能 著 岩波書店
『「私物化」される国公立大学』 駒込武 著 岩波書店
『誰も教えてくれない日本の不都合な現実』 ひろゆき 著 きずな出版
『ジョブ型雇用社会とは何か』 濱口桂一郎 著 岩波書店
『見た目が気になる』 河出書房新社 編

